

先週の回答



「女の『でも』にまどわされてはいかん」
 「どうゆうことですか？ 先パイ」
 「女の『でも』は曲者なんだ」
 「曲者・・・？」
 「でも、お父さまにきいてみなくては、とか。でも、あたし初めてだからこわい、とか。でも、今日は体調がよくないから、とか。『でも』は女の武器なんだ」
 「・・・？」
 「女の『でも』には、ちよつと待ってとか、考えさせてとかの場合と、イヤよ絶対。冗談じゃないわよの場合があるんだ」
 「そんな。それだったらはっきり断るんじゃないですか？『でも』は使わずに。」

判断がつかないから『でも』と躊躇するんじゃないですか？」
 「というより、『でも』には後に、あたしはいいけど条件があるのが略されているんだ。しかも、あたしはいいけどよりも、条件があるに重点を置いてる場合が多いんだ」
 「・・・？」
 「たとえば、おまえが彼女に肉体関係を迫る。彼女は『でも』と応じそうて応じない」
 「そうなんです。そのとーりなんです」
 「それが女の常套手段。薄志弱行（はくしじやくこう）に見せかけて、薄志弱行わかるか？」
 「いえ、よくわかりません」
 「意志が弱く、実行力に欠けるように見せかけることだ」



「なぜ？」
 「身持ちがいいように思わせるためだが、じつはそうではない」
 「どうなんですか？」
 「こんな男よりもっといい男がいるんじゃないか。だけでそうゆう男にめぐり会わなかった場合も考えると、一概に拒絶しない方がいいから『でも』で繋いでおこうと思うんだよ。女は」
 「そうなんですか、女は」
 「女は、いかにも薄志弱行、意志薄弱、優柔不断に見せかけて、引っぱつといて、ある日突然『あたし、この人と結婚することになったの』って、う、う、う、う・・・」
 「そんな目に会ったことがあるんですか？ 先パイ」
 「つい最近。立ち直れない、う、う、う」と先パイ泣き伏す。

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。